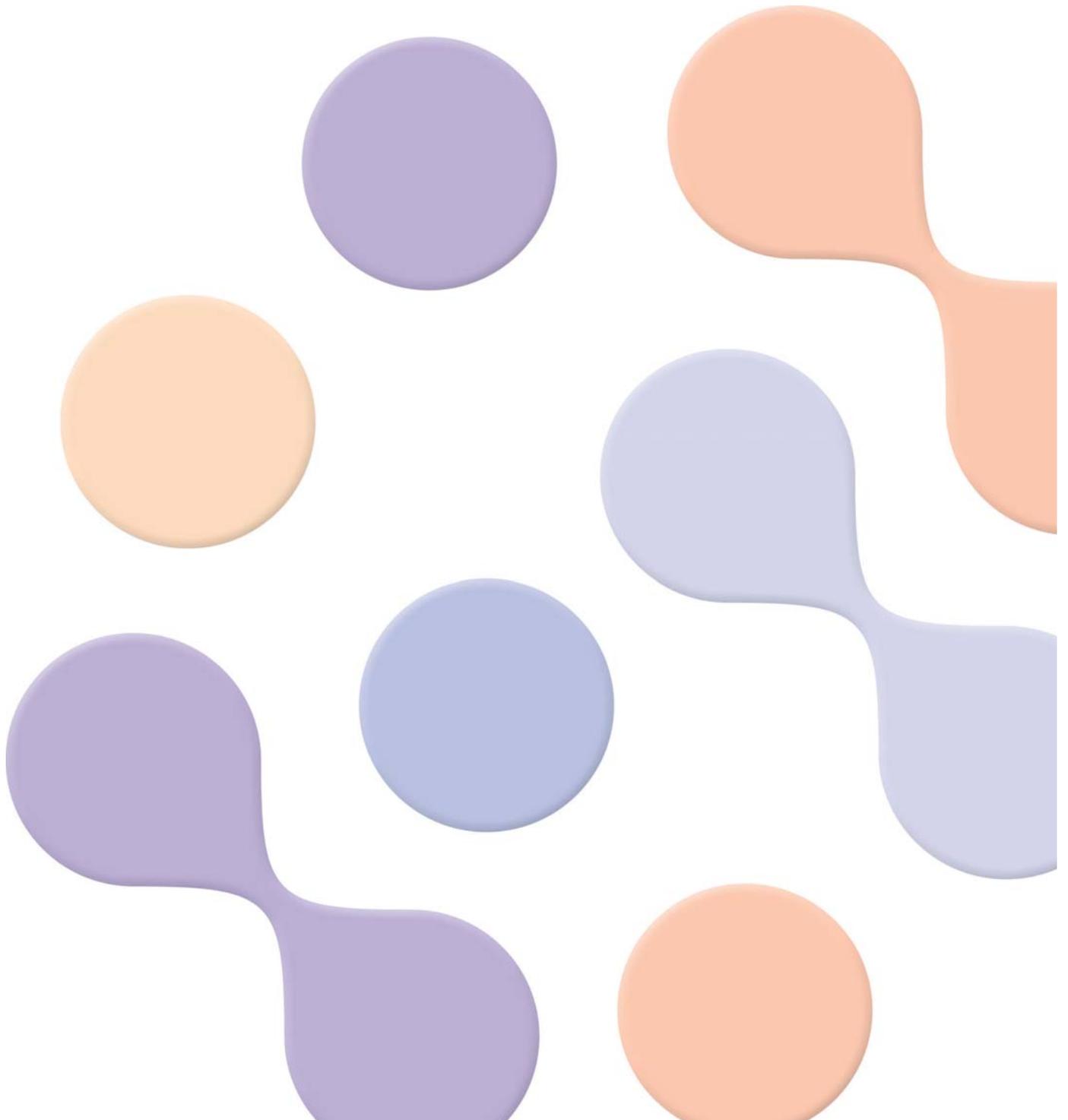


Eurofins Food and Product Testing

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストイング株式会社

会社案内

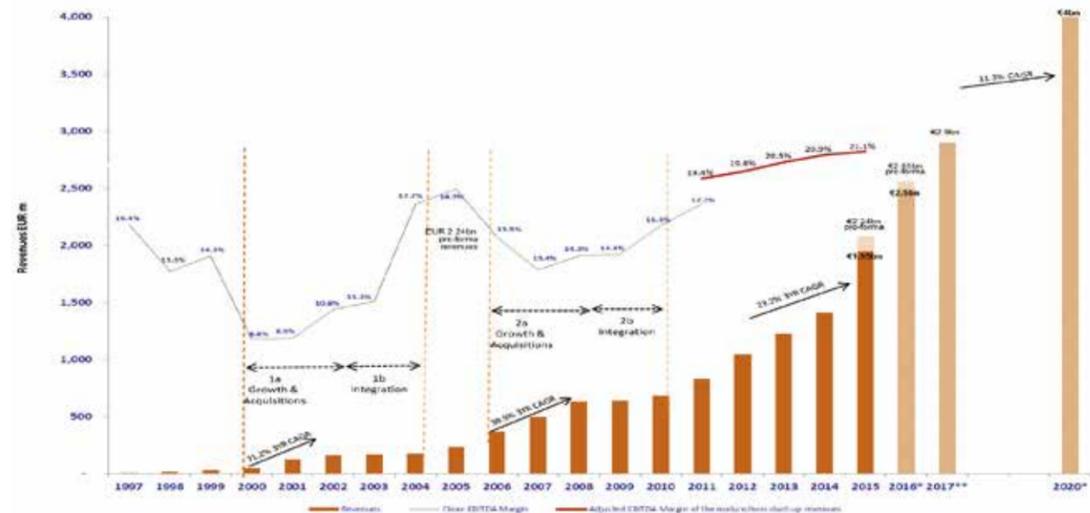


会社概要

名称 ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社
 本社所在地 横浜市金沢区幸浦2-1-13
 代表取締役 楠 祐也
 資本金 140,700千円
 沿革 2009年1月 日本法人設立
 (旧社名 ユーロフィンアナリティクス株式会社)
 2011年7月 国内ラボ稼働
 2012年1月 ユーロフィン・フードテストング・ジャパン株式会社に社名変更
 2013年1月 ユーロフィン日本環境から食品分析事業及び製品分析事業を事業統合
 2013年3月 ISO17025試験所認定更新
 2013年10月 ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社に社名変更
 2014年1月 厚生労働省登録検査機関を取得

ユーロフィングループ概要

設立 1987年
 本社 Chaussee de Malines 455 B-1950 Kraainem (Brussels) Belgium
 上場 ニューヨーク証券取引所ユーロネクストパリ
 社員数 25,000人以上
 売上 19.5億ユーロ(2015年)



世界有数の検査・試験・製造施設

ヨーロッパ、ブラジル、USA、アジアの39か国に250の施設を所有しています。

検査・試験項目と手法

130,000通りに及ぶ分析項目・手法を採用しています。

専門性

食品及び分析業界における経験豊富な技術と法規制の専門家を保有しています。

正確性

グループ内部及び外部による試験精度確認を実施しています。多くのラボがISO17025を取得しています。

ポリシー

お客様の製品と、価値あるブランドの保護に重点を置いています。

対応力

研究開発の仕組みと最新の設備機器への投資を実施します。



Eurofins Dr Specht lab

Eurofins Food and Product Testing
ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社
(日本)



Food Testing Laboratories

Eurofins Denmark (Denmark) / ビタミン分析、アミノ酸分析、栄養成分分析
 Eurofins Nantes (France) / 真正分析、GMO検査、アレルギー検査
 Eurofins Central Analytical Lab (USA) / 残留農薬分析、脂肪酸分析、栄養成分分析
 Eurofins GeneScan (USA/Germany) / GMO検査、DNA分析
 Eurofins Dr Specht Lab (Germany) / 残留農薬分析
 Eurofins WEJ Contaminants (Germany) / 重金属、カビ毒、アレルギー検査

Product Testing Laboratories

Eurofins Product Testing Service (China) / SVHC / Reach / EN71-3
 Eurofins Product Safety Labs (USA) / Eurofins BSL (Germany) / 毒性試験、環境動態試験/ 物理化学試験
 Eurofins Consumer Product Testing (Germany) / 容器包装試験
 Eurofins Product Testing (Denmark) / VOC放散量
 Eurofins ATS / 化粧品分析

ユーロフィンのサービスは食の安全と人々の安心をサポートします



残留農薬検査

多成分一斉分析と個別分析を組み合わせ、ポジティブリスト制度に対応した残留農薬分析をおこなっております。生鮮食品はもちろん、分析が難しいお茶、加工食品まで幅広い食品品目に対応しています。

● 一斉分析パッケージ

項目数	特徴	納期
212 項目	輸入食品の違反事例の高い農薬を集めて構成したパッケージ	5 営業日
300 項目	短納期、かつ使用頻度の高い農薬をカバーしたおためパッケージ	5 営業日
400 項目	厚生労働省のモニタリング項目を意識したパッケージ	7 営業日
600 項目	国内外を問わず使用頻度の高い農薬、ドリフト農薬も考慮した大規模パッケージ	10 営業日

● 平成27年度輸入食品モニタリングパッケージ

野菜、果実、穀類/豆類、お茶の各食品群ごとにモニタリング項目の93%以上をカバーしています。

● 輸出处パッケージ

品目	輸出先国
お茶	EU・米国・アジア
生鮮食品	
加工食品	



※現地ラボへ検体を送り、輸出国の規則に基づいた分析を実施致します。



放射性物質検査

平成24年3月15日付け「食品中の放射性物質の試験法について」(食安発0315第4号)に基づいた放射性物質検査を実施しています。

また、当社は農林水産省および厚生労働省の指定検査機関として、国内はもちろん、海外への輸出处検査も多数実績があります。

農林水産省:「輸出食品等に対する放射性物質に関する検査の実施機関」
厚生労働省:「食品中の放射性物質に関する検査を実施することが可能である登録検査機関」



微生物検査

食品衛生法、ISO法、FDA法に準拠した検査を実施しています。多様な食品品目、微生物項目へ対応しています。



重金属分析

食品および飼料について、国内外の基準へ対応した重金属分析を実施しています。鉛、カドミウム、ヒ素、水銀をはじめとして45種以上の重金属、ミネラルの分析が可能です。



真正分析

ユーロフィンは、1986年に真正分析の手法の1つであるSNIF-NMR®(特許取得済み)の実用化のために設立され、ワインや果汁をはじめとしたヨーロッパの真正分析に大きく寄与しています。

天然品の判別

対象:オリーブオイル、はちみつ、果汁、ワイン、魚など

分析手法
- SNIF-NMR®
- IR-MS
- NMR

SNIF-NMR: Site Specific Natural Isotope Fractionation Studied by Nuclear Magnetic Resonance

生物種・品種の判別

対象:米品種、植物種、魚種、肉種など

分析手法
- DNA シーケンシング
- リアルタイム PCR
- SNP 法
- SSR 法

産地の判別

対象:米、植物、魚、肉など

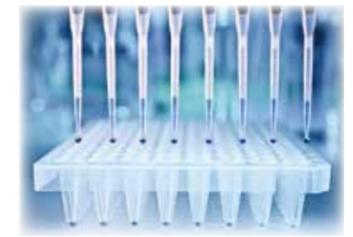
分析手法
IR-MS



GMO / アレルゲン検査

国内で認可されているGM種のほか、海外で流通しているGM種や未承認の品種まで幅広く対応しています。

- GMOスクリーニング検査
- GMO定性検査
- GMO定量検査



消費者庁通知法に準拠したアレルゲン検査(ELISA法、PCR法)を実施しています。

この他に、海外ラボではEU、米国向け試験にも対応しています。

- 特定原材料(アレルゲン)検査: 卵、乳、小麦、そば、落花生、甲殻類(えび、かに)
- 表示推奨食品(アレルゲン)検査: 大豆、牛肉、豚肉、鶏肉、さけ、さば、あわび、いか、りんご、もも、キウイフルーツ、バナナ、くるみ、やまいも、ゴマ、カシューナッツ



マイコトキシン類(カビ毒)検査

国内外の基準へ対応したマイコトキシン類の分析を実施しています。

アフラトキシン B1, B2, G1, G2	デオキシノバレンール(DON)	T-2、HT-2 トキシン
アフラトキシン M1, M2	ニバレノール(NIV)	フモニシン B1, B2, B3
オクラトキシン A	フサレノン-X	シトリニン
パツリン	ゼアラレノン	ステリグマトシスチン

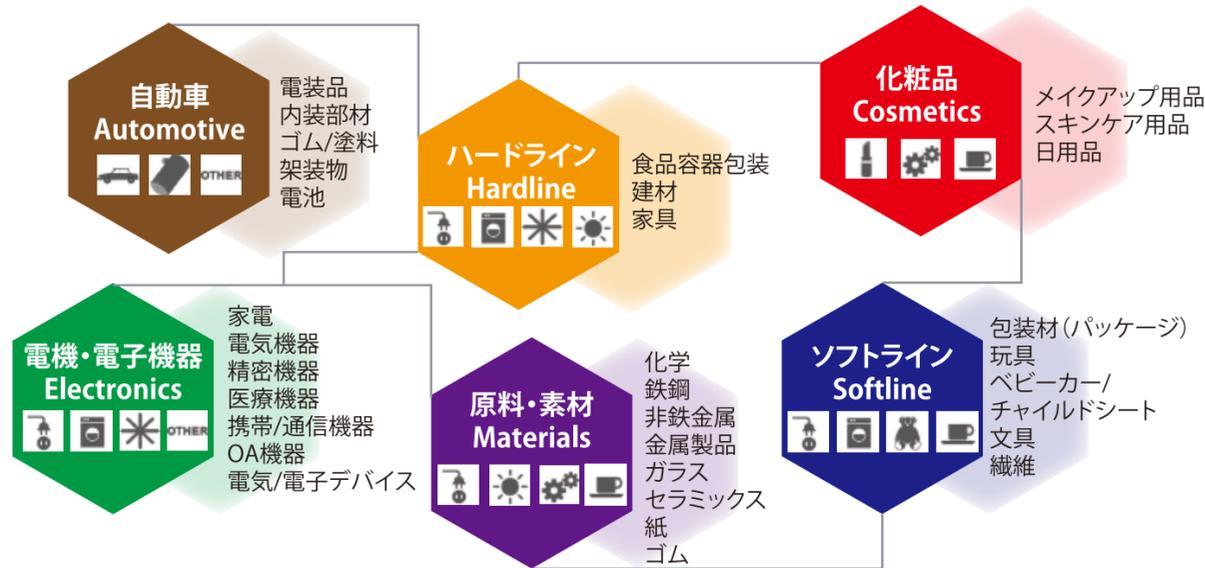


その他

- 栄養成分分析
- トランス脂肪酸分析
- フタル酸エステル類分析
- 四級アンモニウム塩分析
- 放射線照射食品の検知
- ペットフード検査
- ダイオキシン類、PCB分析
- 動物用医薬品分析
- 容器包装試験
- ラベルチェック
- 輸入前自主検査
- 命令検査
- アクリルアミド分析
- 機能性成分の分析

Product Testing 製品分析

川上~川下までサプライチェーンに沿って各種テストに対応します!



RoHS分析

日本で初めてRoHS指令全6物質のISO/IEC17025を取得、最先端の精度管理を誇るラボにて信頼性の高いデータを提供します。



RoHS 2.0

改定のポイントを押さえた適切な分析手法をご提案します。
①対象製品の拡大
②規制物質の追加・見直
DEHP、DBP、BBP、DIBP
③CEマークの対象



REACH (SVHC)

高懸念物質(SVHC)1次~15次までを分析、申請・登録のコンサルティングから必要な安全性試験も対応します。



VOC 測定

特色あるサンプリング手法ならびに豊富な経験(自動車部品、PC、建材など)があります。JIS A1901小型チャンバー法(20L or 1m3)、サンプリングバッグ法 IN/VAD/ISO規格、Fogging試験、におい試験、LEED試験



ELV (SOC)

環境負荷物質10元素を測定します。
4物質(ELV):Pb、Cd、Hg、6価クロム
6物質:PBB、PBDE、デカPBDE
ヘキサプロモシクロドデカン
PFOS、アスベスト類



玩具 EN71シリーズ

最新のEN71-3:2013に対応、世界標準のレポートをリーズナブルな価格にてご提供します。
対応分野:part1~3、part9~11
食品衛生法に基づいた玩具試験にも対応しています。



フタル酸エステル

各国の規制に応じた分析に対応。
2005/84/EC、CPSIA Section 108、Proposition 65、厚生省告示第370号 JIG、REACHなど



容器包装

容器包装の安全性は食品そのものの安全を意味し、それらを保証するための物理的、化学的試験を行う必要があります。

- ・国内 :厚生労働省公定法370号
一般規格、材質(樹脂)別試験、フタル酸エステル
- ・EU :EU10/2011
EN1186 Overall migration :総移行量テスト/溶出試験
EN13130 Specific migration :特定移行量試験/特定溶出試験
官能試験、包装廃棄物、毒性(Cd,Cr,Pb,Hg,フタル酸など)



安全性試験

30年の実績に裏打ちされた品質と信頼により、化学品(環境・農業・バイオ)を取り扱うすべてのお客様の研究、開発、品質、安全、コンプライアンスの向上に寄与します。毒性評価は、製品毒性から人体耐性、環境負荷、法律に則った評価書の作成、コンサルティングまで幅広くサポートします。

- ・対応規制/ガイドライン
各種GLP対応、OECD Guidelines for Testing of Chemicals、JMAFF
Official Journal of the European Communities、U.S. EPA Health Effects、OPPTS
- ・物化性試験、毒性試験、農業評価、環境動向およびリスクアセスメント
Ames試験、ADME、各種毒性(幼若、細胞、生殖、発生、光関連、遺伝、代謝)
大小動物短/長期毒性試験、がん原性試験(マウス、ラット、ハムスター等)
水生(魚、無脊椎、藻、植物)、陸生(ミツバチ、ミミズ、節足)



化粧品評価

EC1223/2009、OECD、FDAをはじめとする主要な規制に準拠した幅広い評価・分析サービスにてお客様製品の品質と安全性を担保し、市場へのスムーズな製品導入をサポートします。

- ・安全性試験 :in vitro、GLP/GMP対応
眼刺激性、皮膚刺激性、光、感作性、皮膚透過性、変異原性
臨床効用テスト、ヒトパッチテスト
- ・微生物試験 :SCCS、AFNOR、European & US Pharmacopoeia、クライアント基準など
安全性/リスク評価、抗菌、識別評価
- ・原材料評価 :ISO17025、ISO9001対応
有効性/品質の確認、各種改善、フラノクマリン分析、香料/香水分析など



その他

- ・化学分析
組成/成分分析、レアメタル/レアアース分析、異物検査、不具合解析
- ・電気的安全性試験(EMC)
- ・サポート代行業務
GHS対応SDS作成
Eurofins Gold(安全性認証)
GSマークなど各種認証業務
- ・医療品添加物・不純物分析



厚生労働省登録検査機関

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社は、2014年1月、外資系としては唯一の登録検査機関として登録されました*。また、神奈川県にラボを持つ唯一の民間機関です。また、当社グループラボは、厚生労働省の外国公的検査機関として、世界で18機関が登録されています。世界最大の食品分析グループの強みを生かし、国内外でお客様の検査需要をサポートします。

・残留農薬、汚染物質、添加物、器具及び容器包装

*食品衛生法(昭和22年法律第233号)第33条の規定に基づき、同法第4条第9項の登録検査機関として登録されています



ISO/IEC 17025

ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社は、ISO/IEC17025の国際規格も取得しています。当社では、日本で初めてRoHS6物質でISO/IEC17025を取得したほか(現在はRoHS/RoHS2.0の全10項目を取得)、食品試験、化学試験、放射能試験において、公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)よりISO/IEC17025を取得しています。



[認定範囲]
食品試験、化学試験、放射能試験



また、グループラボの大部分がISO/IEC 17025を取得しており、海外ラボでの分析についても安心してご依頼いただけます。

精度管理

登録検査機関への登録やISO/IEC17025認定取得を通じて、下記のような内部精度管理や外部精度管理プログラムを実施し、品質の維持/向上に努めています。

《内部精度管理》

- 定期的に既知濃度試料(標準物質)の分析を実施
- 適正な添加回収試験やブランク試験を実施

《外部精度管理》

- FAPASやiisなど国際的な技能試験プログラムへ積極的に参加
- 技能試験のない分析項目については、グループ間での試験所比較を実施



ご依頼方法



ホームページに簡単な分析内容のご案内がございますので、ご参照ください。分析項目、納期、必要検体量などのご確認、お見積りのご依頼は、メールまたはお電話でお問い合わせください。



注文書を送付致しますので、ご記入後、メールまたはFaxでご返送ください。注文書はウェブサイトからダウンロードもできます。



試料を下記住所にご送付ください。その際、注文書も同封ください。
試料送付先:ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストング株式会社
〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-1-13
(海外ラボへの発送は弊社で手配致します)



ご希望と分析項目に応じて、国内外のラボにて分析を行います。



分析終了後に報告書の速報をPDFにてメール致します。原本は郵送致します。



基本的には、納品後30日以内のお振込となりますが、ご依頼時に御社の支払条件をご提示頂ければ対応させていただきます。

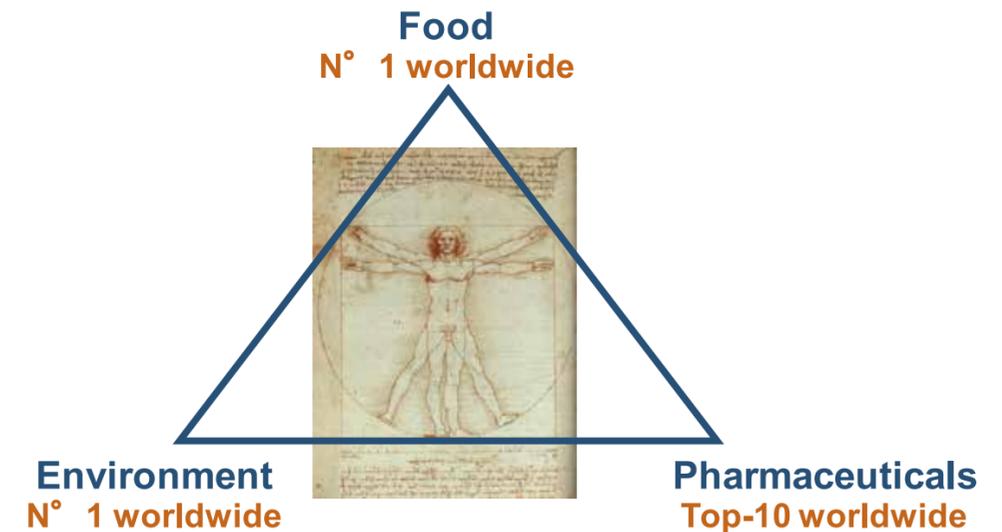
情報配信サービス

当社では、海外の法規情報や最新分析情報を中心とした、食品分析ニュースレターを発行しています。輸出入に関連した違反事例などの情報や、海外における食品分析の動向や食品に関する事故・事件まで幅広く提供しています。

アーカイブは弊社ホームページよりダウンロードできるほか、定期購読をご希望の際は infojp@eurofins.comよりお申し込みください。



世界有数の検査・試験・製造施設を有し、
お客様のいかなるニーズにも迅速かつ正確な対応をお約束します。



国内グループ紹介

環境分析事業 -Environment Testing-

最新設備を導入し、高精度・大量処理・短納期で環境分析サービスを提唱する環境計量事業と、環境アセスメントをはじめとするコンサルティングを通じて、お客様にご満足のいくサービスを迅速・丁寧にご提供致します。

- ユーロフィン日本環境株式会社
- ユーロフィン日本総研株式会社
- ユーロフィンEAC株式会社

遺伝子事業 -Genomic & Sequencing Services-

創薬、疾患研究、分子マーカー探索やジェノタイピングを中心にゲノミクス研究からプロテオミクスまで、幅広く、基礎研究開発を加速・支援する受託サービスを大学・公的研究機関・企業に提供しております。

- ユーロフィンジェノミクス株式会社

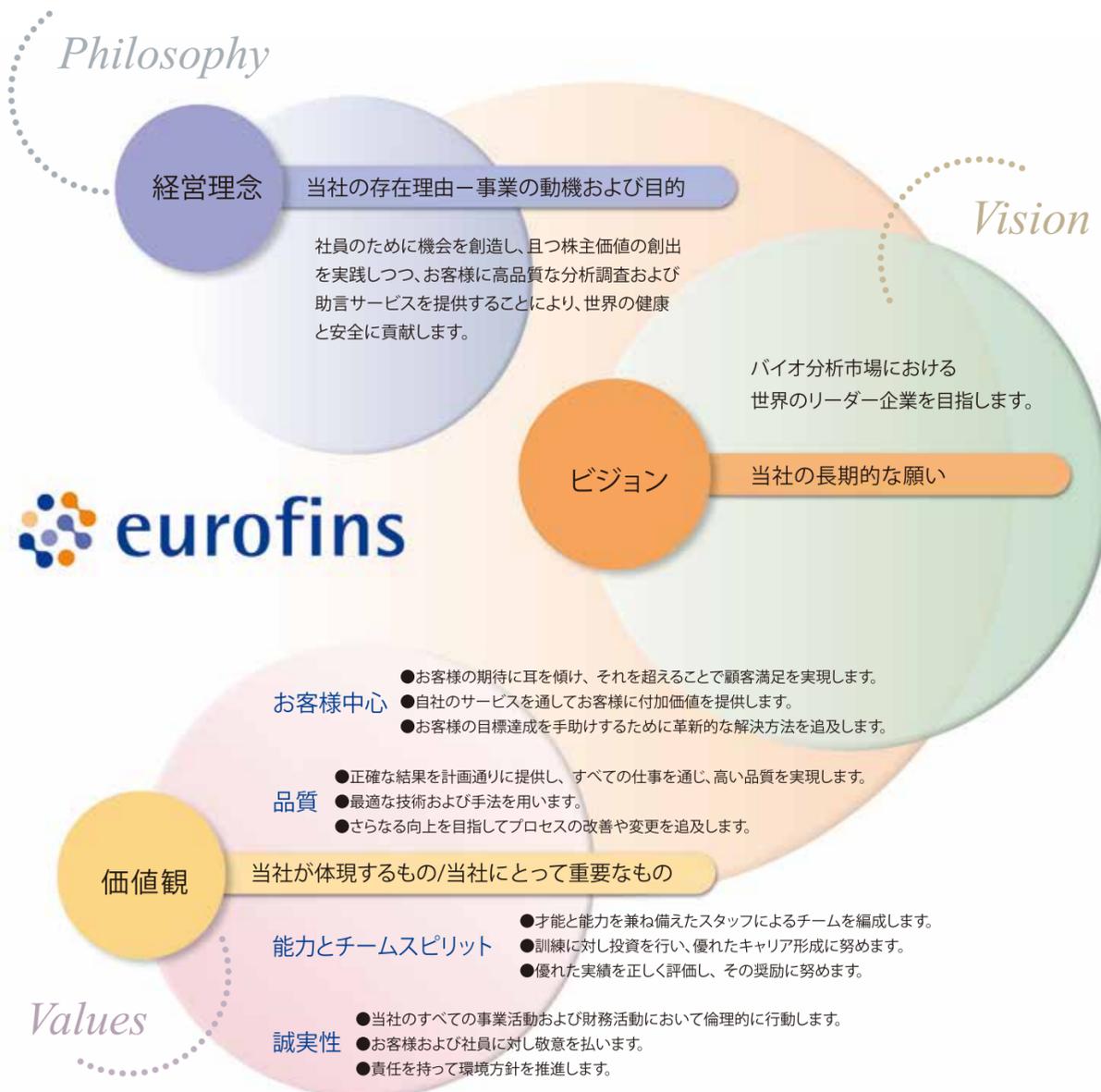
医薬・薬理試験事業 -Pharma Discovery Services-

医薬品探索研究における薬理試験受託で最大の試験受託グループであり、試験は薬理全分野に亘り2,500項目以上を有し、検体受領後5~20日間で試験結果をお届け致します。

- ユーロフィン ファーマディスカバリーサービス 日本事務所

バイオ医薬 (Large Molecules) に特化した非臨床、並びに臨床試験のバイオアッセイサービスを行います。Oxford および St Charlesの130名以上の研究者がアッセイサービスに携わっております。

- ユーロフィン バイオアナリティカルサービス 日本事務所





ユーロフィン・フードアンドプロダクト・テストイング株式会社

食品分析グループ

〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-1-13
TEL : 045-330-3004 FAX : 045-330-0021
email : infoJP@eurofins.com
website : food.eurofins.co.jp

製品分析グループ

〒236-0003 横浜市金沢区幸浦2-1-13
TEL : 045-780-3831 FAX : 045-330-0021
email : infoJP_pt@eurofins.com
website : product.eurofins.co.jp